

---

## 株式会社常磐植物化学研究所は 三菱UFJ銀行の「世界が進むチカラになる私募債」を発行しました

— 発行金額の0.1%をESG推進団体へ寄付 —

---

株式会社常磐植物化学研究所（代表取締役社長：立崎仁、以下「当社」）は、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員：半沢淳一、以下「三菱UFJ銀行」）の「世界が進むチカラになる私募債」（以下「本私募債」）を発行し、3億円を調達しましたのでお知らせいたします。

本私募債は、三菱UFJ銀行が当社の起債を受け、起債金額の0.1%（1案件あたり上限1百万円）を、環境や社会課題に取り組むESG推進団体などへ寄付するものです。

当社は経営理念において、「植物に感謝し、生かされる会社」になることを掲げ、非財務目標も「生かされる」としています。地球環境、社会、人から「生かされる会社」になるためには、ESG経営が必要不可欠と考えており、本社工場の99%カーボンニュートラルの実現や抽出残渣の再利用、教育CSRの実施など、様々な取り組みを行っております。

本私募債の発行も当社ESG経営の一環とし、持続可能な環境・社会の実現に貢献いたします。

当社は今後も、ESG経営を推進し、2030年をゴールとしているSDGsの更に見据えたwell-beingな社会の実現を目指して参ります。

## <株式会社常磐植物化学研究所について>

住所：(本社・工場) 佐倉市木野子 158 番地

電話：043-498-0007

(東京支社) 東京都中央区日本橋本町 4-4-16 日本橋内山ビル 6 階

電話：03-5200-1251

URL：[常磐植物化学研究所 \(tokiwaph.co.jp\)](http://tokiwaph.co.jp)

当社は、1949年に創業した日本初の植物化学の専門企業です。千葉県佐倉市に本社・工場を構え、ブルーベリーエキスやイチョウ葉エキス、ラフマエキスなど、植物から機能性成分を抽出・精製し、機能性表示食品や医薬品原薬、化粧品などの原料として海外を含む2,000を超える事業者へ販売し、世界中の人々の健康に寄与しています。「研究所」の名の通り、植物の機能性などについて、大学や研究機関と連携を図り研究開発に注力しており、原料の製造のみならず、分析業務や受託精製など、植物化学に関するあらゆるニーズに対応しています。本年10月に創業75周年を迎え、100年企業に向けて、「世界一の植物化学企業」を目指しています。